

標 題 : Modifications of serum levels of omentin-1 and other cardiovascular risk factors following weight loss secondary to a Mediterranean hypocaloric diet.
地中海低カロリー食事による体重減少に続く血清オメンチン-1 値および他の心臓血管系危険因子の変化

著 者 : D. Antonio de Luis, et al. (スペイン バリャドリッド大学 Hospital Clinico Universitario 医学部 栄養・内分泌学科 内分泌・栄養研究センター)

掲 載 誌 : Clin. Nutr. 2018 Dec; 37(6 Pt A): 2280-2283

要 旨 :

背景と目的 : オメンチン-1 は、インスリン抵抗性、脂質異常症および肥満に対して役割を演じる可能性がある。

この研究の目的は、地中海パターンでの低カロリー食事後にオメンチン-1 濃度に対する体重減少の影響を評価することであった。

方 法 : 肥満患者の白人サンプル67人を、低カロリー食事の前と3ヵ月後に分析した。身体計測値、血圧、空腹時血糖、C-反応性タンパク質、空腹時インスリン、インスリン抵抗性、脂質濃度およびオメンチン-1 を測定した。

結 果 : 67 人の肥満被験者を研究に登録した。

平均年齢は 48.3 ± 8.0 歳(範囲 : 25-66)で、平均 BMI $34.5 \pm 4.8 \text{ kg/m}^2$ (範囲 : 30.2-40.8)であった。

性別分布は、女性 50 人(74.6%)と男性 17 人(25.4%)であった。

食事介入後に男性および女性で、BMI、体重、脂肪量、ウエスト周囲、血圧、グルコース、LDL コレステロール、インスリンおよびインスリン抵抗性が低下した。

オメンチン-1 値は介入後に増加した(開始時と3ヵ月後の差 : 男性 $10.0 \pm 3.8 \text{ ng/dl}$; $p=0.01$ 、女性 $9.9 \pm 4.1 \text{ ng/dl}$; $p=0.03$)。

年齢および性別を調整した重回帰分析で、BMI およびインスリンはオメンチン-1 の開始時および介入後の値と独立して関連したままであった。

結 論 : 地中海パターンでの低カロリー食事による体重減少後に、オメンチン-1 値の有意な増加を、我々の研究が示した。

著作権 © 2017 エルゼビア社およびヨーロッパ臨床栄養・代謝学会。著作権所有。

キーワード : 低カロリー食事、地中海食事、肥 満、オメンチン-1、体重減少
